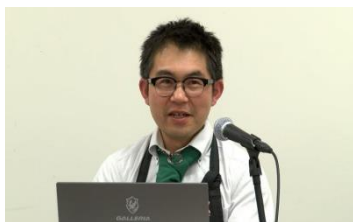


## ふくしまの今を知る学習会報告



2025年1月14日(火)福島とオンラインでつなぎ『ふくしまの今を知る～農業の食の安全・安心の取り組み～』の学習会を開催し、当日参加64名、後日動画配信9名の参加がありました。今年度は農業の安全安心の取り組みをテーマに、福島県郡山市で農業を営む8代目の藤田浩志さんを講師にお迎えして福島県の今について、また、これからの農業について語っていただきました。

### 開会あいさつ 東京都生協連 樽井事務局長

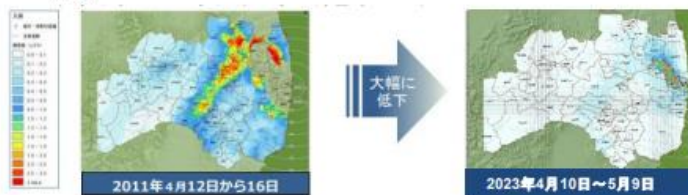
福島原発の事故後、13年が経過してどのような変化があったのか、そしてふくしまの今を知る機会として、農業の安全安心に向けての取り組みを知り、東京にいる私たちにできることは何かを一緒に考える大事な時間にしたい。「ふくしまの今を語る人」運営事務局の皆さまのお力をお借りして本日開催できたことについて感謝申し上げます。



**福島県の概要:** 初めにふくしまの今を語る人運営事務局の千葉さんから、福島県の3つの地域それぞれの特産品や文化的行事などの特徴をお聞きしました。

また、震災から14年目をむかえ、震災直後の放射線量に比べると自然減衰や除染の効果が確実に現れています。現在は大幅に減少していて、世界の主要都市や国内の都市と同程度まで低減していること、食の安全を守るモニタリング検査の状況についても説明がありました。

中通りと浜通りでは、放射性物質の自然減衰や除染の効果が確実に現れている。



震災直後の放射線量に比べると自然減衰や除染等により現在は大幅に減少、世界の主要都市や国内の都市と同程度まで低減。

### 福島県の取り組み

「自然災害」に強く、安心安全な「未来の暮らし」を目指し、様々な取り組みを今も続けていること。現在の状況もお話しいただきました。

### 藤田浩志さん講演より

米農家の8代目になった理由や野菜ソムリエとして野菜・果物の福島県産のおいしさや収穫時期による品種の違いや特徴についてなど、様々な経歴から多岐にわたる活動について伺いました。

東日本大震災を受け、「ふくしまの土がついている」だけでネギ取引が減少したエピソードをお話しくださり、風評被害払拭のために徹底した米の全袋検査など様々な取り組み、福島県の農産物の安全性についても丁寧にご説明くださいました。

しかし、風評被害だけが問題というわけではないと考えており、農地を観光資源として活用することや、おいしい農産物を育てて消費者の皆さんが楽しいと思える農業への原点回帰を提唱。現在では自動運転トラクターやドローンを積極的に活用し、先進的な技術介入で米の品質が格段に良くなった。東日本大震災によって多くの課題が浮き彫りとなった課題先進地域ふくしまを、農業という分野から今後も支えていきたい。と、お話しくださいました。

### 参加者のアンケートから

- ・ぜひ福島へ行って様々の特徴ある桃を食べてみたいです
- ・実際の生産者からの話を聞くことができ、この人たちが作っているのなら!と安心しました
- ・震災以前よりも、更に進化している福島県の魅力について学びほかの人に伝えたい

